

第1章 調査概要

第1章 調査概要

1. 調査の目的

急速に進行する少子高齢化や人口減少の中で、東京一極集中や地方における生産年齢人口の減少等の課題に対応するため、女性や若者にとって魅力的な地域づくりの取組を推進していくことが求められている。こうした状況の中、地域間で女性活躍・男女共同参画に関する取組の進捗状況に差異がみられる。また、地方では、「男性は仕事」、「女性は家庭」のいわゆる「昭和モデル」がいまだに残っていると指摘もある。地域ごとに女性を取り巻く状況（教育環境、就業・雇用環境、生活環境、固定的な性別役割分担意識等）も異なっているため、地域の実情を把握し、それに応じた形で全国各地における男女共同参画に関する取組を進めていく必要がある。

近年、若い女性が地方から都市へ転出する傾向が強くなっている。地方には女性にとって魅力的な仕事がないこと、都市に比べて労働条件が良くないこと、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みが根強く残っているため、若い女性が閉塞感を感じやすいことなどが原因と言われている。

他方、東京圏居住者における地方移住に対する関心が若い世代ほど高くなっていることや、地方の方が、結婚・子育てに必要な実感的な可処分所得と可処分時間が相対的に豊かであり、結婚・子育てがしやすいと考えられることなどは、地方の活性化につながる可能性もある。

若年女性の都市への転出超過は、若い世代において、地域における性別による人口の不均衡が発生し、少子化の要因の一つともなり、地域の活力が減少すると同時に、将来的には、日本全体の活力の減少につながる懸念される。地域がその活力を高めていくためにも、若い女性が定住したくなる環境を実現することが不可欠である。

地方の男女共同参画を推進し、地域の活力を向上させるような取組を推進することは、我が国の将来を見据えると、非常に重要な課題である。

こうした問題意識の下、都市と地方における若者・子育て世代を取り巻く状況などに関する意識を把握し、全国各地における男女共同参画推進に向けた取組の検討材料とする。

2. 調査検討委員会

本調査の実施に当たっては、有識者からなる調査検討委員会を設置し、開催した。

① 構成

氏名	所属
【主査】山田 昌弘	中央大学文学部教授
小安 美和	株式会社Will Lab代表取締役
高見 具広	独立行政法人労働政策研究・研修機構(JILPT)主任研究員

② 開催実績

回	日時	主な議題
第1回	令和6年11月11日(月)	・調査計画(案)について ・アンケート調査票(案)について
第2回	令和7年1月24日(金)	・中間報告書(集計速報値)(案)について ・分析方針について ・報告書の構成について
第3回	令和7年2月20日(木)	・最終報告書(案)について

3. 調査事項

調査項目及び設問項目一覧は以下のとおりである。

なお、本調査では、中学校卒業時点で住んでいた場所を「出身地域」としている。

設問番号	項目	設問文
-	性別	※性別はモニター登録時情報を利用するため、本アンケートでは確認していない。
F1	年齢	あなたの年齢をお知らせください。
F2	現住都道府県	あなたが現在お住まいの都道府県を教えてください。(1つ)
Q1	現住地域	あなたが現在お住まいの地域を教えてください。(1つ)
Q2	現住地域の居住年数	現在お住まいの地域に、あなたは何年くらい住んでいますか。(半角数字記入)
Q3	出身都道府県	あなたが中学校卒業時点で住んでいた都道府県を教えてください。(1つ)
Q4	出身地域	あなたが中学校卒業時点で住んでいた地域を教えてください。(1つ)
Q5①	現住地域への愛着度	あなたは、下記の地域に、どれくらい愛着がありますか。 「全く愛着がない」を0点、「とても愛着がある」を10点とした場合に、 何点くらいになると思うか教えてください。(それぞれ1つずつ)
Q5②	出身地域への愛着度	
Q6	未婚	現在及び過去の配偶者の有無について教えてください。(1つ)
Q7	子供の有無	子供の有無について教えてください。(1つ)
Q8	同居している人	あなたが現在、同居している方について教えてください。 同居している人数についてもお答えください。(いくつでも)
Q9	同居している子供の年齢	現在同居している子供の年齢を教えてください。 当てはまるものを全てお選びください。(いくつでも)
Q10①	自分の親の居住状況	あなたとご自身の親、配偶者の親の居住状況について教えてください。 (当てはまるもの全て)
Q10②	配偶者の親の居住状況	
Q11	結婚する直前の 自分の親との同居の有無	結婚する直前に、あなたご自身の親と同居していましたか。(1つ)
Q12	兄弟・姉妹の有無	あなたのご兄弟・姉妹について教えてください。(いくつでも)
Q13	最終学歴	最後に行かれた(又は現在行かれている)学校は下記のどれに当たりますか。 中退も含みます。(1つ)
Q14	自分の就業状況・雇用形態	現在のあなたの就業状況・雇用形態について、当てはまるものをお選びください。(1つ)
Q15	就業経験の有無	あなたは、これまでに働いたことがありますか。(1つ)
Q16	勤務先の業種	現在のあなたの勤務先の業種について、当てはまるものをお選びください。(1つ)
Q17	勤務先の企業規模	現在のあなたの勤務先の企業規模について、当てはまるものをお選びください。(1つ)
Q18	配偶者の就業状況・雇用形態	配偶者の現在の就業状況・雇用形態について、当てはまるものをお選びください。(1つ)

設問番号	項目	設問文
Q19①	個人年収	今年(2024年)の①個人年収(あなたご自身)と、②世帯全体の年収について、当てはまるものをお選びください。(各々1つずつ)
Q19②	世帯年収	
Q20	1日の時間の使い方	あなたのふだんの1日の時間配分について、分単位で教えてください。(それぞれ数字入力)
Q21①	現住地域は「都会」だと思うか「地方」だと思うか	あなたは、下記の地域について、都会だと思いますか、地方だと思いますか。あなたの考えに最も近いものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q21②	出身地域は「都会」だと思うか「地方」だと思うか	
Q22	現住地域に住むようになったきっかけ	あなたが現在お住まいの地域に住むようになったきっかけを教えてください。(いくつでも)
Q23	現住地域に満足しているか	あなたは、現在お住まいの地域について、下記の項目に満足していますか。当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)
Q24	現住地域における地域の人たちとの交流の程度	あなたは、現在お住まいの地域で、地域や近所の人たちとどのくらい交流していますか。最も近いものをお選びください。(1つ)
Q25	現住地域や勤務先における人とのつながり・交流に満足しているか	あなたは、現在お住まいの地域や勤務先における人とのつながりや交流について、下記の項目に満足していますか。当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)
Q26	自分の都合による出身地域からの転居経験の有無と転居先	あなたは、自分の都合(進学や就職など)で、中学校卒業時点に住んでいた地域から転居し(離れ)ましたか。どこに転居したかを含めて教えてください。(1つ)
Q27	自分の都合で出身地域を離れた理由	あなたが、自分の都合で、中学校卒業時点に住んでいた地域から転居した(離れた)理由を教えてください。(いくつでも)
Q28	大学等への進学検討時の希望地域	大学、短大、専門学校等への進学を検討したときに、あなたは、どの地域の学校に進学したいと思っていましたか。当てはまるものをお選びください。(いくつでも)
Q29	大学等への進学を検討した際に重視したこと	大学、短大、専門学校等への進学を検討したときに、あなたは、下記の項目をどのくらい重視しましたか。当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q30	大学等への進学検討時の希望分野と進学分野	大学、短大、専門学校等への進学を検討したときに、あなたが「希望していた分野」と「実際に進学した分野」を教えてください。(1つ)
Q31	希望分野と異なる分野に進学した理由	希望していた分野と異なる分野に進学した理由について、当てはまるものをお選びください。(いくつでも)
Q32	大学等への進学検討時に周囲の人から言われたこと	大学、短大、専門学校等の進路の検討に関して、あなたは、親や家族、先生、周囲の人から下記のようなことを言われましたか。当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q33	大学等への進路の検討に関する自分の意見	大学、短大、専門学校等の進路の検討に関する下記のような意見について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q34	初職検討時の希望業種	あなたが初めての仕事に就くことを検討したときに(学生時代のアルバイトは除く)、どのような業種を希望していましたか。(いくつでも)
Q35	仕事に就くに当たって重視したこと	仕事(学生時代のアルバイトは除く)に就くに当たって、あなたは、下記の項目をどのくらい重視しましたか。当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q36	仕事や就職先の検討について周囲の人から言われたこと	就職先や仕事の検討(転職を含む)に関して、あなたは親や家族、周囲の人から下記のようなことを言われましたか。当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q37	仕事や就職先の検討に関する自分の意見	就職先や仕事の検討に関する下記のような意見について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q38	現在の仕事に満足しているか	あなたは、現在の仕事について、下記の項目に満足していますか。当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つ)

設問番号	項目	設問文
Q39	今後、結婚したいか	あなたは今後、結婚したいと思いますか。(1つ)
Q40	今後、子供を持ちたいか	あなたは今後、子供を持ちたいと思いますか。(1つ)
Q41	今後、結婚したら どのように住みたいか	今後、結婚したら、あなたはどのように住みたいと思いますか。(いくつでも)
Q42①	自分の理想とする生き方	①あなたの理想とする人生、②あなたの理想とする配偶者の人生はどのようなタイプですか。 最も近いものをお選びください。(それぞれ1つ)
Q42②	自分の理想とする配偶者の 生き方	
Q43	現住地域や勤務先における 固定的な性別役割分担 意識等の有無	現在あなたがお住まいの地域や勤務先で、下記のようなことはありますか。 最も当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q44	出身地域における 固定的な性別役割分担 意識等の有無	中学校卒業時点であなたが住んでいた地域で、下記のようなことはありましたか。 最も当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q45	親や親戚から言われたこと	あなたは、親や親戚から下記のようなことを言われたことがありますか。 最も当てはまるものをお選びください。(それぞれ1つずつ)
Q46	将来、住みたい地域	将来、あなたはどこに住みたいと思っていますか。 今のお気持ちに最も近いものをお選びください。(1つ)
Q47	住みたい理由	前問で答えた場所に住みたい理由を教えてください。(いくつでも)
Q48	現住地域以外に住むに 当たって不安に思うこと	現在住んでいる地域以外に住むに当たって、不安に思うことはありますか。 当てはまるものをお選びください。(いくつでも)
Q49	デジタルスキルへの関心	最後に、デジタルスキルについてお伺いします。 デジタルスキルに関する以下のようなことについて、あなたは関心がありますか。 関心があるものをお選びください。(いくつでも)
Q50	仕事における デジタルスキルの活用	先ほど答えていただいたようなデジタルスキルについて、あなたは、今後仕事で 活用できそうだと思いますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。(1つ)

4. 調査方法・調査対象

調査方法	インターネット・モニターに対するアンケート調査 (株式会社マーケティング・アプリケーションズの登録モニターが対象)
調査名	あなた自身に関する調査
調査対象	国内在住のインターネットパネル登録モニター(18歳以上39歳以下)

5. 調査期間

インターネット・モニターに 対するアンケート調査	令和6年12月4日(水)～12月20日(金)
-----------------------------	------------------------

6. サンプル割付方法

(1) 回収数：10,000人

(2) サンプルの割付

本調査においては、「都会」及び「地方」を①のとおり定義。
②令和2年国勢調査における男女×年代×現住地域の分布に基づき、③のとおり回収。

①【都会と地方の定義】

【都会】・・東京都＋政令指定都市(20都市) 【地方】・・左記以外

【都会・・東京都＋政令指定都市】

北海道	札幌市	京都府	京都市
宮城県	仙台市	大阪府	大阪市、堺市
埼玉県	さいたま市	兵庫県	神戸市
千葉県	千葉市	岡山県	岡山市
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市	広島県	広島市
新潟県	新潟市	福岡県	北九州市、福岡市
静岡県	静岡市、浜松市	熊本県	熊本市
愛知県	名古屋市	東京都	全域

②【回収割付】

令和2年国勢調査(不詳補完結果)における「男女×年代×都会(東京都と政令指定都市)と地方」の分布状況に基づく回収目標値

単位:人		現住地域 都会	現住地域 地方	合計
女性	18～29歳	993	1,516	2,509
	30～39歳	897	1,484	2,381
男性	18～29歳	1,001	1,638	2,639
	30～39歳	913	1,558	2,471
合計		3,804	6,196	10,000

③本調査 回収数

単位:人		現住地域 都会	現住地域 地方	合計
女性	18～29歳	993	1,516	2,509
	30～39歳	897	1,484	2,381
男性	18～29歳	1,001	1,638	2,639
	30～39歳	913	1,558	2,471
合計		3,804	6,196	10,000

7. 報告書内で使用する用語及び定義

本調査で使用する用語		本調査で用いた定義	
都会・地方	都会	東京都＋政令指定都市(20都市)	左記の定義は、集計区分上の定義であり、質問文及び選択肢における「都会」「地方」は、回答者の主観によっている。
	地方	上記以外	
地域	現住地域	現在住んでいる地域	
	出身地域	中学校卒業時点で住んでいた地域	
出身地域・現住地域	都会出身・都会居住層	出身地域が都会、現住地域が都会の人	
	地方出身・都会居住層	出身地域が地方、現住地域が都会の人	
	地方出身・地方居住層	出身地域が地方、現住地域が地方の人	
	都会出身・地方居住層	出身地域が都会、現住地域が地方の人	
未既婚	未婚	これまで一度も結婚したことがない人	
	既婚(離別・死別を含む)	現在配偶者がいる人、または現在は独身だが過去に離婚・死別の経験がある人	
世帯類型	夫婦のみ世帯	世帯主とその配偶者のみで構成する世帯。本調査では、回答者とその配偶者。	
	夫婦と子供から成る世帯	夫婦と子のみで構成する世帯。	
	単独世帯	世帯員が一人だけ(回答者のみ)の世帯。本調査では回答者本人のみの世帯。	
	母子・父子世帯	未婚もしくは離別・死別(有配偶は除外)かつ、子供と同居している世帯。他に祖父母などと同居していても該当。	
	親と同居世帯	自分と親の組合せで同居しており、かつ、配偶者・子供・孫と同居していない世帯。	
	その他世帯	上記以外の世帯。	
子供の有無	子供がいる	子供の有無を尋ねる設問(Q7)において、「子供がいる」を選択した人	
	子供はいない	同設問において、「子供はいない」を選択した人	
跡継ぎか否か	跡継ぎ	伝統的価値観においていわゆる「跡継ぎ」とされる人 具体的には、兄弟構成を尋ねる設問(Q12)において、一人っ子又は男性の場合は長男、女性の場合は兄弟のいない長女を「跡継ぎ」と区分。	
	跡継ぎではない	上記以外	
最終学歴	高等学校等	最後に行った(現在行っている)学校を尋ねる設問(Q13)において、「小学校・中学校」「高等学校」「専門学校(中学校卒業後)」を選択した人	
	大学・短大・専門学校等	同設問において、「専門学校(高校卒業後)」「短期大学」「高等専門学校(5年制)」「大学・大学校」「大学院」を選択した人	
就業状況・雇用形態	正規雇用労働者	就業状況を尋ねる設問(Q14)において、「正規の会社員・職員・従業員」「会社などの役員」を選択した人	
	非正規雇用労働者	同設問において、「パート・アルバイト」「労働派遣事業所の派遣社員」「契約社員」「嘱託」「その他の形で雇用されている」を選択した人	
	その他の有業者(自営業・自由業等)	同設問において、「自営業・自由業(従業員がいる)」「自営業・自由業(従業員がいない)」「自家営業の手伝い(家族従業者)」「家庭内の賃仕事(内職)」「その他」を選択した人	
	学生	同設問において、「学生」を選択した人	
	その他の無業者	同設問において、「主婦・主夫(働いていない)」「その他(働いていない)」を選択した人	
就業経験	就業経験あり	「正規雇用労働者」「非正規雇用労働者」「その他有業者(自営業・自由業)」、もしくは就業経験を尋ねる設問(Q15)で、「以前は働いていたことがある」を選択した人	
	就業経験なし	「その他無業者」のうち、就業経験を尋ねる設問(Q15)で、「今まで一度も働いたことがない」を選択した人	

7. 報告書内で使用する用語及び定義

本調査で使用する用語		本調査で用いた定義
東京圏・ 東京圏以外	東京圏	東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
	東京圏以外	上記以外 ※出身地域には「海外」を含む
地域 ブロック	北海道	北海道
	東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
	南関東(東京圏)	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
	北関東・甲信	茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県
	北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県
	東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
	近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
	中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
	四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
	九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

結果数値(%)は、少数第二位を四捨五入(報告書内では少数第一位まで表章)しているため、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合がある。

【集計結果について】

- ・クロス集計(割合)に関してはカイ2乗検定等による検定、数値による回答の平均値に関してはt検定を行っている。
- ・グラフ・図表で示した内容のうち、5%水準で統計的に有意差があるもののみ、文章で「差がある」等の表現を使って記載している。
- ・調査結果まとめの有意差については、報告書本章で述べているため全て割愛している。